

性暴力の実相

第2部

—⑤—

2年前から性暴力の加害者を明ける。■ ■ ■

「自分自身の力では抑えられ

た。法曹界でも、この治療法の

認知度は高まっている。

「生まれたことを呪つた」と

ホルモン剤は投与していない。

今春、わいせつ誘拐罪など

もある」「逮捕されてほつとし

「性暴力は病気。治療で止め

盗撮、のぞきと罪名を問わず、

1ヶ月の受診者は二百数十人。

20年近く性被害者の治療も続

実刑を言い渡された20代の男

られる」

5年前にNPO法人「性障害

た」。記者が面会し、手紙の

治療には3~5年を要し、きち

専門医療センター」(東京)を

けてきた堀川百合子副院長は

は、判決後、拘置所で記者にこ

やりとりを重ねた性加害者の多

立上り上げた福井裕輝医師(46)

「過去にいじめや性虐待といっ

う傷を持つ加害者は多い。加害

者たちは、自分では抑えきれない性

は、抗男性ホルモン剤による治

療に取り組む。

取り組みが少しずつ社会に浸

り、九州の拠点として、福岡で

診療の拠点は都内と大阪市

透してきたのだろう。福井医師

なかなか踏み出せない」と打ち

長から「性犯罪はカウンセリン

内。それオフィスビルの一

室にある。ホームページ上など

撮影していた。判決では、裁判

た。実際に、記者に「ホルモン

治療を行なうが、看板

の要因は複合的であり、直接ホ

ルモンにアプローチする手法に

か、自分では抑えきれない性

のない部屋で、患者たちがひつ

透してきたのだろう。福井医師

せつな行為をし、カメラで裸を

衝動に悩んでいるように見え

そりと診察を受ける。

のものには近年、全国から新し

い患者が相次ぐ。今年10月には

錠剤を飲んで男性ホルモンの量を抑え、性欲を減退させる治療。もともとがん患者などに行っている治療を応用した。よりの診療準備を進めている。

JR博多駅近くに事務所を借り、九州の拠点として、福岡で

強い効果を望む人には皮下注射も打つ。「本人の同意が前提。強制はしません」

犯行に至る行動と思考パターンを省みさせる「認知行動療法」も施し、性衝動のコントロール

倫理上問題がある。こんな意

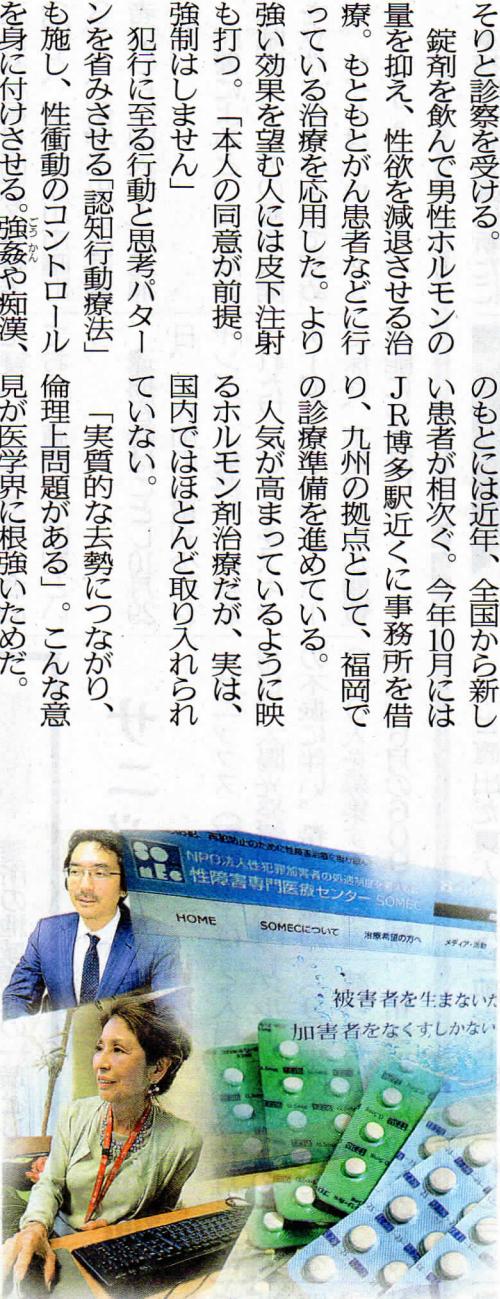
見が医学界に根強いためだ。

薬物療法と倫理の間で

倫理と犯罪抑止。そのはざま

で、性加害者とともに医師も揺

(一瀬圭司、久知邦)



性加害者治療の費用 性暴力の薬物療法やカウンセリングは国の保険適用外。NPO法人「性障害専門医療センター」では抗男性ホルモン剤が月5000円、認知行動療法が同2万5000円程度。実施している病院は国内では限られている。海外では、欧米や韓国で既に普及している。